

2023年1月 戸田市景気動向に関するアンケート調査結果

1 目的

市内の景況に関し、現状や見通しなどの調査を行うことで、業種別の市内景気の動向を迅速に把握するほか、取り組むべき経営課題について実態を把握し、今後どのような支援策が必要かどうか、経済施策立案のための基礎資料とすることを目的とする。

2 調査期間

2023年1月13日(金)～1月31日(火)

3 調査対象

市内事業者700社

4 調査方法

WEB調査
(対象者にアンケート回答用のQRコードが記載された文書を郵送し、WEBで回答)

5 回答状況

有効回答数	375 社
回答率	53.6% %

市内中小企業の景況感

市内中小企業の景況感は、前期に比べ改善傾向が見られたが、見通しについては、厳しい状況である。生産高・売上高は改善したが、仕入価格の上昇により、利益は依然厳しい状況である。

特別調査

現状の経営課題について
適格請求書等保存方式(インボイス制度)について
SDGs(持続可能な開発目標)について

DI(景気動向指数: Diffusion Index)とは

増加(好転)と回答した企業割合から減少(悪化)と回答した企業割合を差し引いた指数で、企業の景況判断等の強弱感の判断に使用する指数のことである。

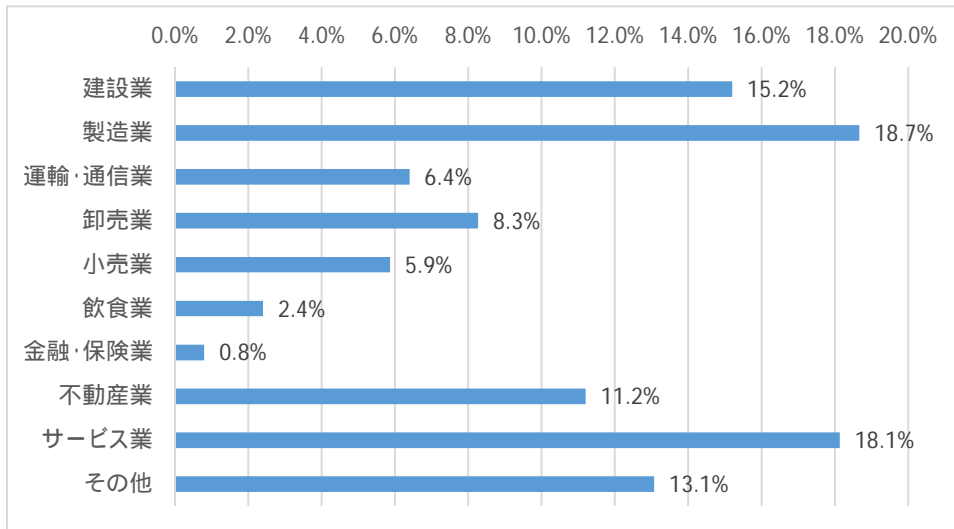
<例> 「増加」50% 「変わらず」20% 「減少」30%
 $DI = 50\% - 30\% = 20$

本調査における構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

調査の基本項目

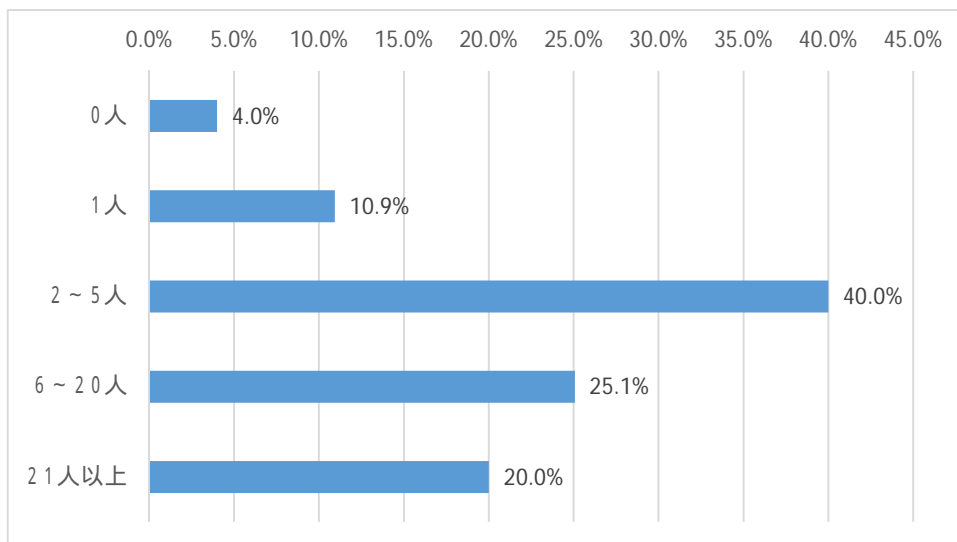
1 事業所の業種

前回に比べ、回答率が上がっており、業種分類は、「製造業」が18.7%、「サービス業」が18.1%、「建設業」が15.2%となっている。以下「その他」、「不動産業」、「卸売業」、「運輸・通信業」、「小売業」、「飲食業」、「金融・保険業」の順となっている。今回の調査では「金融・保険業」は回答数が少なかったため「その他」に含めている。



2 従業員数

従業員数の分布は、「2～5人」が40.0%と一番多く、「6～20人」が25.1%、「21人以上」が20.0%となっている。「1人」、「0人」と回答したのは全体の約15%である。本調査では小規模の事業所の回答が中心となっている。



1 戸田市内の景況や貴事業所の動向について

Q1 景況や貴事業所の動向の「実績見込み」と「見通し」について

戸田市内の景況や貴事業所の動向に関する以下の10項目について、それぞれ該当するものを選択

- ・実績見込み: 令和4年度下期は、令和4年度上期と比べていかがか。
- ・見通し: 令和5年度上期は、現在の実績と比べてどうなると思うか。

なお、業種によっては回答する必要のない項目があるため、その場合は未記入

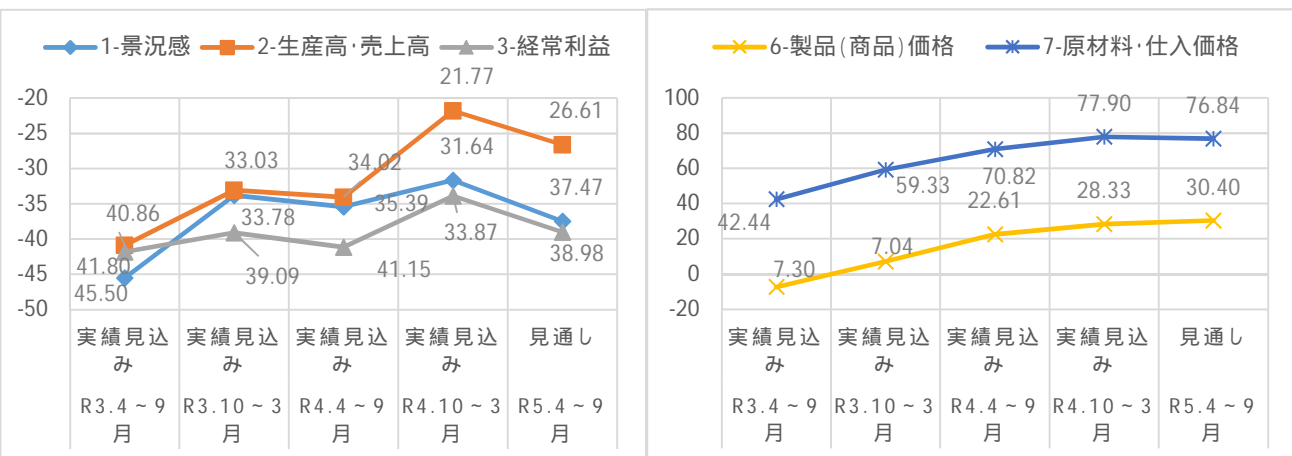
10項目

- (1)景況感 (2)生産高・売上高 (3)経常利益 (4)雇用人員
 (5)労働時間 (6)製品(商品)価格 (7)原材料・仕入価格
 (8)製品(商品)在庫 (9)資金繰り (10)設備投資
上記の質問について、DIを算出し、グラフを作成

[全体の概要]

今期(令和4年度下期)の「景況感DI」は-31.64であり、前期から3.76ポイント増加し、若干の改善傾向であるが、見通しについては5.83ポイント減少の-37.47と悪化傾向が見られる。「生産高・売上高DI」は-21.77であり、前期から12.25ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては4.84ポイント減少の-26.61と下降傾向である。「経常利益DI」は-33.87であり、前期から7.28ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては5.11ポイント減少の-38.98と下降傾向である。「製品(商品)価格DI」は28.33であり、前期から5.72ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても2.07ポイント増加の30.40と上昇傾向である。「原材料・仕入価格DI」は77.90であり、前期から7.08ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては1.07ポイント減少の76.84とほぼ横ばいである。

下の折れ線グラフでは、景況感への影響の強い5項目(景況感、生産高・売上高、経常利益、製品(商品)価格、原材料・仕入価格)を掲載している。

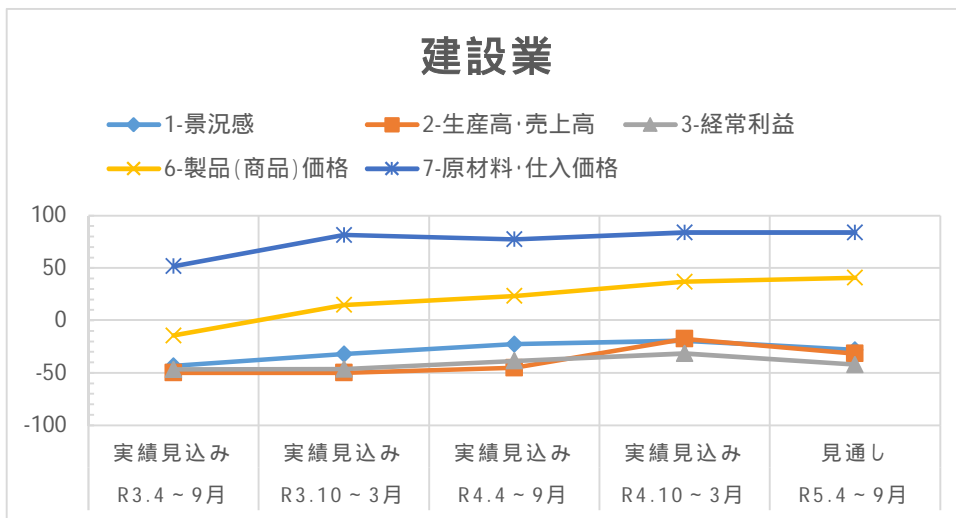


質問項目(DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月	R5.4~9月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	45.50	33.78	35.39	31.64	37.47
2-生産高・売上高	40.86	33.03	34.02	21.77	26.61
3-経常利益	41.80	39.09	41.15	33.87	38.98
4-雇用人員	15.96	25.45	19.50	28.69	32.61
5-労働時間	19.35	10.91	11.11	5.09	4.84
6-製品(商品)価格	7.30	7.04	22.61	28.33	30.40
7-原材料・仕入価格	42.44	59.33	70.82	77.90	76.84
8-製品(商品)在庫	9.25	3.43	7.14	2.05	1.76
9-資金繰り	25.81	21.72	25.51	24.59	25.88
10-設備投資	7.10	0.47	7.98	6.52	7.88

業種別の動向について

〔建設業の概要〕

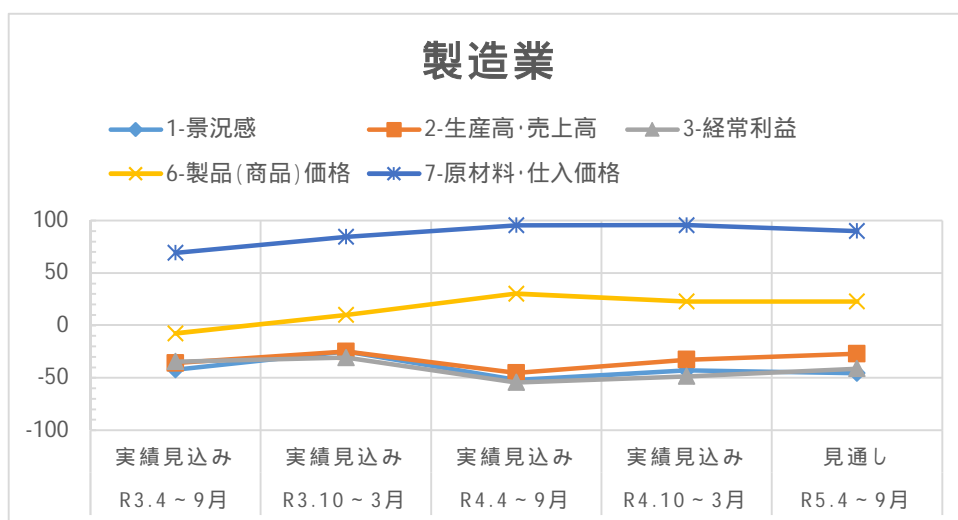
「景況感DI」は-19.30であり、前期から3.28ポイント増加し、やや改善傾向であるが、見通しについては8.77ポイント減少の-28.07と悪化傾向である。「生産高・売上高DI」は-17.54であり、前期から27.62ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては14.04ポイント減少の-31.58と下降傾向である。「経常利益DI」は-31.58であり、前期から7.13ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては10.53ポイント減少の-42.11と下降傾向である。「製品(商品)価格DI」は37.04であり、前期から13.70ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても3.70ポイント増加の40.74とやや上昇傾向である。「原材料・仕入価格DI」は83.93であり、前期から6.51ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。



質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月	R5.4~9月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	43.33	32.14	22.58	19.30	28.07
2-生産高・売上高	50.00	50.00	45.16	17.54	31.58
3-経常利益	46.67	46.43	38.71	31.58	42.11
4-雇用人員	33.33	46.43	33.33	50.88	54.39
5-労働時間	33.33	17.86	9.68	1.75	7.02
6-製品(商品)価格	14.29	14.81	23.33	37.04	40.74
7-原材料・仕入価格	51.72	81.48	77.42	83.93	83.93
8-製品(商品)在庫	6.90	0.00	17.86	7.84	6.00
9-資金繰り	33.33	21.43	12.90	26.32	26.32
10-設備投資	16.67	14.29	12.90	12.50	21.43

〔製造業の概要〕

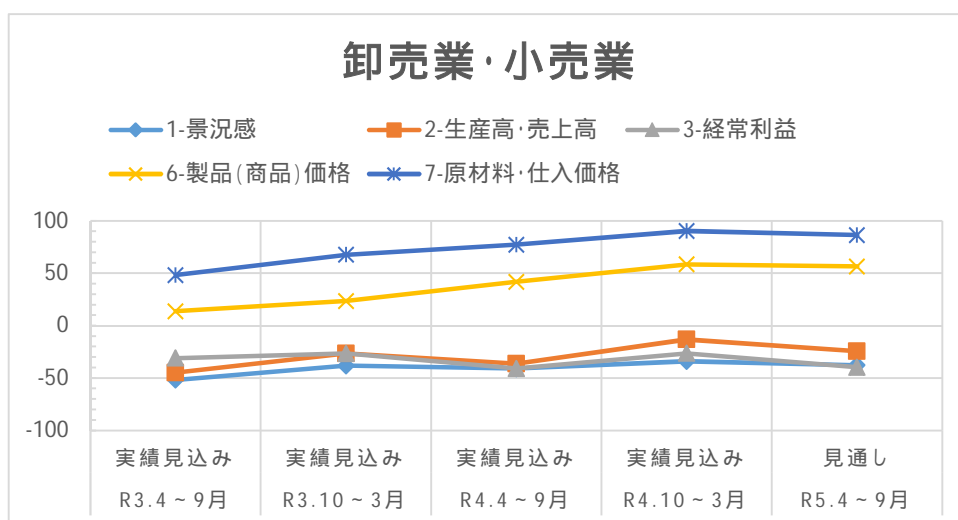
「景況感DI」は-42.86であり、前期から9.42ポイント増加し、改善傾向であるが、見通しについては2.73ポイント減少の-45.59とほぼ横ばいである。「生産高・売上高DI」は-32.86であり、前期から12.59ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても5.72ポイント増加の-27.14と上昇傾向である。「経常利益DI」は-48.57であり、前期から5.98ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても7.14ポイント増加の-41.43と上昇傾向である。「製品(商品)価格DI」は22.86であり、前期から7.37ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。「原材料・仕入価格DI」は95.71であり、前期から0.26ポイント増加と依然高い水準となっているが、見通しについては5.71ポイント減少の90.00と下降傾向である。



質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月	R5.4~9月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	42.31	25.00	52.27	42.86	45.59
2-生産高・売上高	36.00	25.00	45.45	32.86	27.14
3-経常利益	34.62	30.77	54.55	48.57	41.43
4-雇用人員	15.38	30.00	20.45	25.71	33.33
5-労働時間	19.23	15.00	25.00	17.14	10.00
6-製品(商品)価格	7.69	10.00	30.23	22.86	22.86
7-原材料・仕入価格	69.23	84.62	95.45	95.71	90.00
8-製品(商品)在庫	4.00	10.53	18.60	7.25	1.45
9-資金繰り	15.38	22.50	34.09	33.82	30.43
10-設備投資	15.38	5.00	11.36	2.86	1.43

〔卸売業・小売業の概要〕

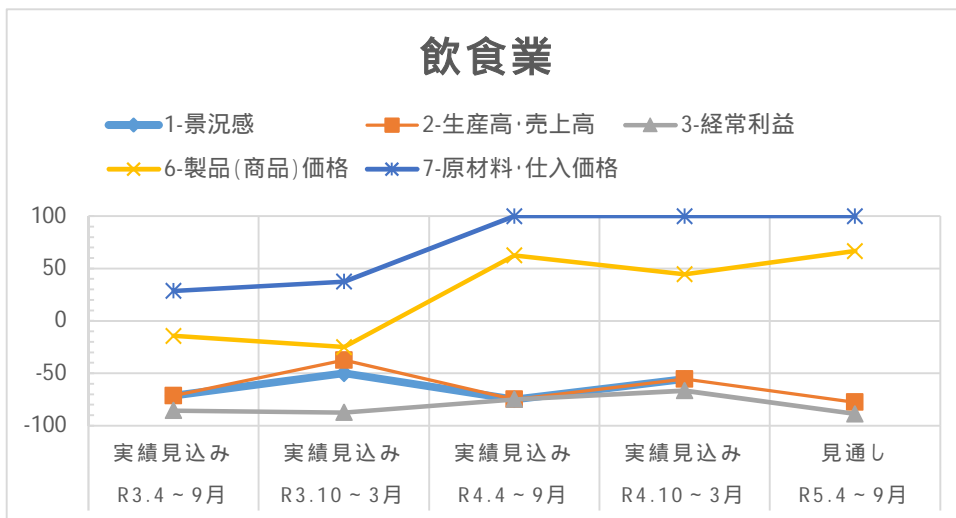
「景況感DI」は-33.96であり、前期から6.95ポイント増加し、改善傾向であるが、見通しについては3.77ポイント減少の-37.74と若干の悪化傾向である。「生産高・売上高DI」は-13.21であり、前期から23.16ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては11.32ポイント減少の-24.53と下降傾向である。「経常利益DI」は-26.42であり、前期から14.49ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては13.20ポイント減少の-39.62と下降傾向である。「製品(商品)価格DI」は58.49であり、前期から16.63ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては1.89ポイント減少の56.60と若干下降している。「原材料・仕入価格DI」は90.38であり、前期から13.11ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては3.84ポイント減少の86.54と若干下降傾向が見られる。



質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月	R5.4~9月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	51.72	38.24	40.91	33.96	37.74
2-生産高・売上高	44.83	26.47	36.36	13.21	24.53
3-経常利益	31.03	26.47	40.91	26.42	39.62
4-雇用人員	24.14	14.71	20.45	15.09	20.75
5-労働時間	21.43	5.88	4.55	7.55	7.55
6-製品(商品)価格	13.79	23.53	41.86	58.49	56.60
7-原材料・仕入価格	48.28	67.65	77.27	90.38	86.54
8-製品(商品)在庫	6.90	17.65	2.27	5.66	5.66
9-資金繰り	20.69	20.59	27.27	24.53	24.53
10-設備投資	3.57	8.82	2.27	0.00	5.66

〔飲食業の概要〕

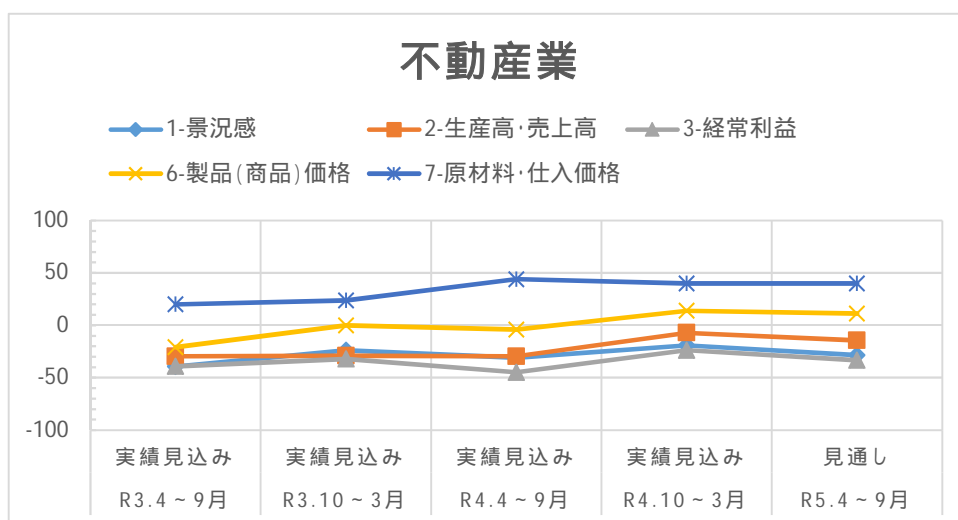
「景況感DI」は-55.56であり、前期から19.44ポイント増加し、改善傾向であるが、見通しについては22.22ポイント減少の-77.78と悪化傾向である。「生産高・売上高DI」は-55.56であり、前期から19.44ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては22.22ポイント減少の-77.78と下降傾向である。「経常利益DI」は-66.67であり、前期から8.33ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては22.22ポイント減少の-88.89と下降傾向である。「製品(商品)価格DI」は44.44であり、前期から18.06ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては22.23ポイント増加の66.67と上昇傾向である。「原材料・仕入価格DI」は100.00であり、前期から依然高い水準で横ばいであり、見通しについても同様である。



質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月	R5.4~9月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	71.43	50.00	75.00	55.56	77.78
2-生産高・売上高	71.43	37.50	75.00	55.56	77.78
3-経常利益	85.71	87.50	75.00	66.67	88.89
4-雇用人員	14.29	25.00	50.00	66.67	66.67
5-労働時間	57.14	25.00	62.50	44.44	44.44
6-製品(商品)価格	14.29	25.00	62.50	44.44	66.67
7-原材料・仕入価格	28.57	37.50	100.00	100.00	100.00
8-製品(商品)在庫	57.14	25.00	12.50	11.11	11.11
9-資金繰り	14.29	0.00	37.50	33.33	55.56
10-設備投資	14.29	12.50	0.00	33.33	44.44

[不動産業の概要]

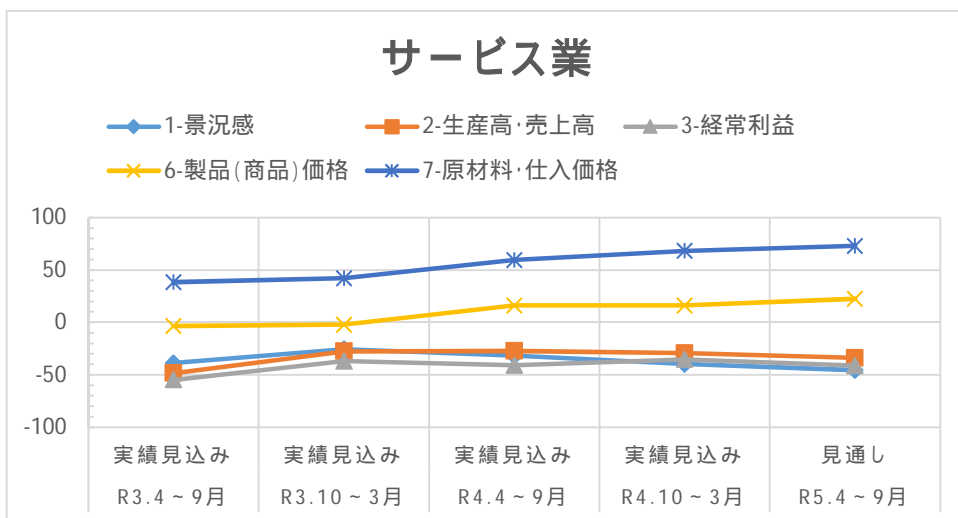
「景況感DI」は-19.05であり、前期から11.98ポイント増加し、改善傾向であるが、見通しについては9.52ポイント減少の-28.57と悪化傾向である。「生産高・売上高DI」は-7.14であり、前期から22.49ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては7.15ポイント減少の-14.29と下降傾向である。「経常利益DI」は-23.81であり、前期から21.02ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては9.52ポイント減少の-33.33と下降傾向である。「製品(商品)価格DI」は13.89であり、前期から17.89ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては2.78ポイント減少の11.11と若干の下降傾向が見られる。「原材料・仕入価格DI」は40.00であり、前期から4.00ポイント減少し、やや下降傾向が見られるが、見通しについては横ばい傾向である。



質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月	R5.4~9月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	39.29	24.00	31.03	19.05	28.57
2-生産高・売上高	29.63	29.17	29.63	7.14	14.29
3-経常利益	39.29	32.00	44.83	23.81	33.33
4-雇用人員	18.52	0.00	3.57	7.14	7.32
5-労働時間	3.70	8.33	0.00	4.76	4.76
6-製品(商品)価格	20.83	0.00	4.00	13.89	11.11
7-原材料・仕入価格	20.00	23.81	44.00	40.00	40.00
8-製品(商品)在庫	4.17	9.52	8.00	2.94	5.88
9-資金繰り	25.93	24.00	24.14	9.52	16.67
10-設備投資	11.11	17.39	14.81	17.50	15.00

[サービス業の概要]

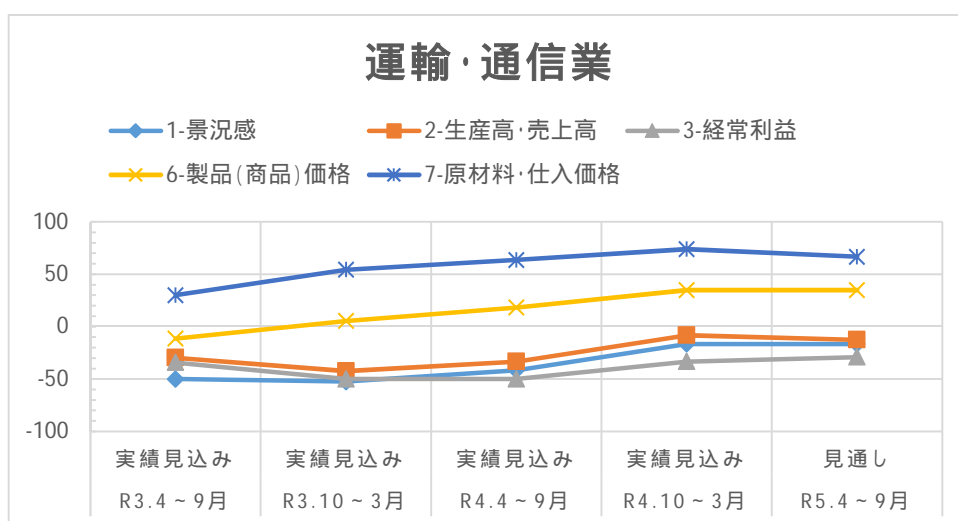
「景況感DI」は-39.71であり、前期から7.89ポイント減少し、悪化傾向であり、見通しについても5.88ポイント減少の-45.59と悪化傾向である。「生産高・売上高DI」は-29.41であり、前期から2.14ポイント減少し、若干の下降傾向が見られ、見通しについても4.41ポイント減少の-33.82と下降傾向である。「経常利益DI」は-35.29であり、前期から5.62ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては5.89ポイント減少の-41.18と下降傾向である。「製品(商品)価格DI」は16.13であり、前期から0.15ポイント減少のほぼ横ばいであるが、見通しについては6.45ポイント増加の22.58と上昇傾向である。「原材料・仕入価格DI」は68.25であり、前期から8.73ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても4.76ポイント増加の73.02と上昇傾向である。



質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月	R5.4~9月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	38.71	25.53	31.82	39.71	45.59
2-生産高・売上高	48.39	27.66	27.27	29.41	33.82
3-経常利益	54.84	36.96	40.91	35.29	41.18
4-雇用人員	3.23	26.09	18.18	20.59	20.59
5-労働時間	12.90	8.51	9.09	1.47	1.49
6-製品(商品)価格	3.45	2.17	16.28	16.13	22.58
7-原材料・仕入価格	38.46	42.22	59.52	68.25	73.02
8-製品(商品)在庫	3.85	7.14	2.50	1.59	4.76
9-資金繰り	32.26	21.28	29.55	22.06	25.00
10-設備投資	13.79	0.00	11.90	8.96	8.96

〔運輸・通信業の概要〕

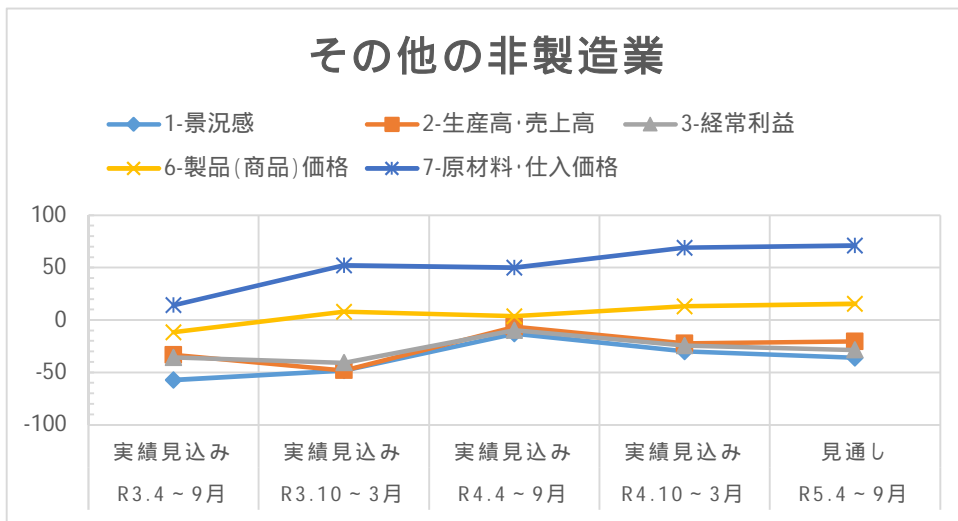
「景況感DI」は-16.67であり、前期から25.00ポイント増加し、改善傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。「生産高・売上高DI」は-8.33であり、前期から25.00ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては4.17ポイント減少の-12.50とやや下降傾向である。「経常利益DI」は-33.33であり、前期から16.67ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても4.17ポイント増加の-29.17と上昇傾向である。「製品(商品)価格DI」は34.78であり、前期から16.60ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。「原材料・仕入価格DI」は73.91であり、前期から10.27ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては7.24ポイント減少の66.67と下降傾向である。



質問項目 (DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月	R5.4~9月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	50.00	52.50	41.67	16.67	16.67
2-生産高・売上高	29.73	42.50	33.33	8.33	12.50
3-経常利益	34.21	50.00	50.00	33.33	29.17
4-雇用人員	5.26	30.77	50.00	54.17	62.50
5-労働時間	21.62	17.95	25.00	4.17	4.17
6-製品(商品)価格	11.43	5.41	18.18	34.78	34.78
7-原材料・仕入価格	30.00	54.29	63.64	73.91	66.67
8-製品(商品)在庫	15.15	5.88	27.27	0.00	0.00
9-資金繰り	27.78	25.64	41.67	16.67	20.83
10-設備投資	2.78	13.51	8.33	8.33	4.17

【その他の非製造業(金融・保険業、その他)の概要】

「景況感DI」は-30.00であり、前期から17.10ポイント減少し、悪化傾向であり、見通しについても6.00ポイント減少の-36.00と悪化傾向である。「生産高・売上高DI」は-22.45であり、前期から16.00ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては2.04ポイント増加の-20.41と若干の上昇傾向が見られる。「経常利益DI」は-24.49であり、前期から14.81ポイント減少し、下降傾向であり、見通しについても4.08ポイント減少の-28.57と下降傾向である。「製品(商品)価格DI」は13.04であり、前期から9.34ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても2.51ポイント増加の15.56と上昇傾向である。「原材料・仕入価格DI」は68.89であり、前期から18.89ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても2.22ポイント増加の71.11と上昇傾向である。



質問項目(DI)	R3.4~9月	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月	R5.4~9月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	57.14	48.15	12.90	30.00	36.00
2-生産高・売上高	33.33	48.15	6.45	22.45	20.41
3-経常利益	35.71	40.74	9.68	24.49	28.57
4-雇用人員	0.00	15.38	6.45	32.00	36.00
5-労働時間	22.22	11.54	3.23	4.00	2.00
6-製品(商品)価格	11.54	8.00	3.70	13.04	15.56
7-原材料・仕入価格	14.29	52.17	50.00	68.89	71.11
8-製品(商品)在庫	16.67	13.04	4.00	4.88	2.44
9-資金繰り	38.46	26.92	9.68	28.57	26.53
10-設備投資	7.69	12.50	3.33	2.04	8.16

2. 貴社の現状の経営課題について

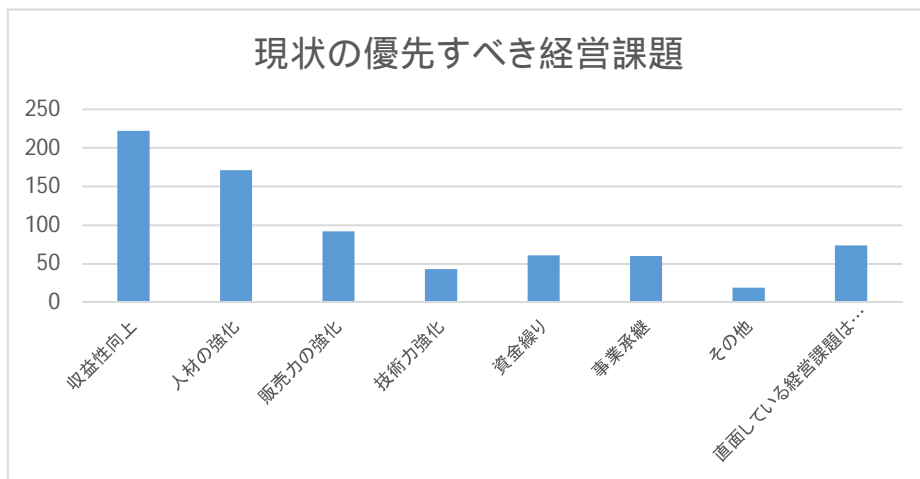
Q2-1 貴社の現状の経営課題(1番の優先課題)は？

Q2-2 貴社の現状の経営課題(次、2番目の優先課題)は？

現状の優先的に取り組むべき経営課題として多かったのは収益性向上が一番多く、次いで人材の強化、販売力の強化が挙げられた。

その他として以下の項目が挙げられた。

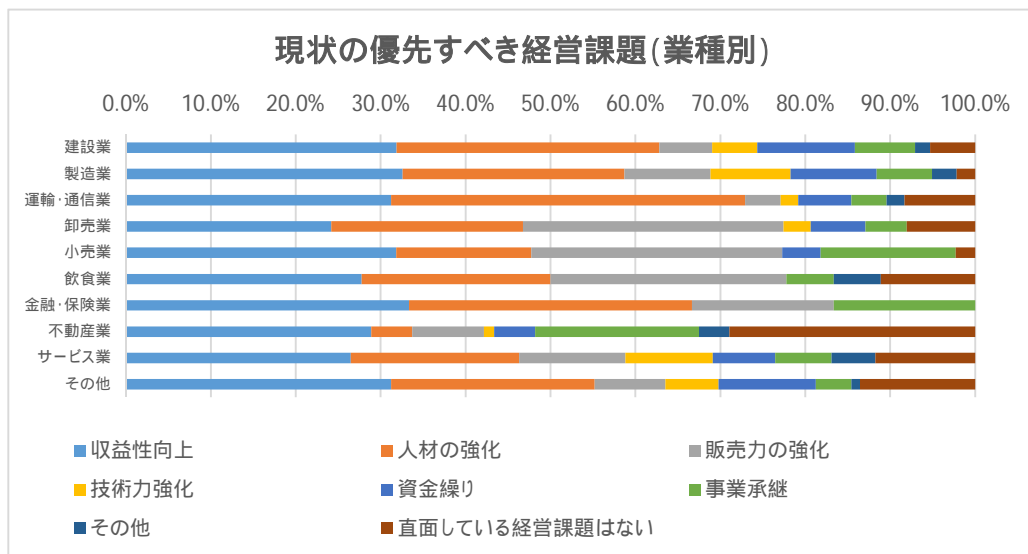
- ・材料の高騰と今後の品物不足 ・デジタル化、IT化 ・働き方改革に伴う内部改善
- ・事業規模拡大、委託先の増強など販売力の強化 ・人員不足、人員の確保など人材の強化
- ・工場建屋および製造設備の老朽化、建物修繕、用地確保



業種別にみる現状の優先すべき経営課題

業種別に集計してみると以下の特徴が見られた。

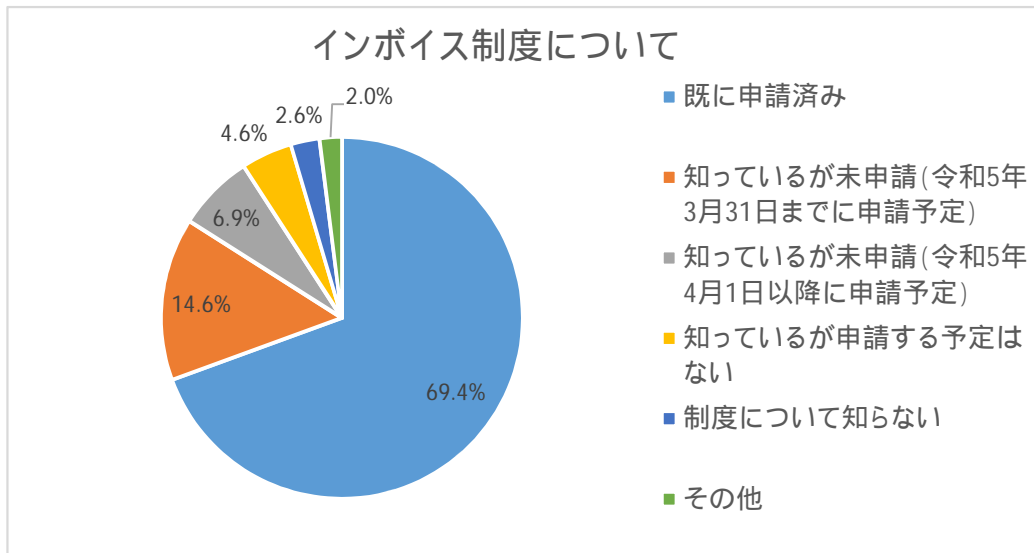
- ・建設業、製造業、サービス業、その他の業種では、収益性向上が一番多く、次いで人材の強化が多かった。
- ・運輸・通信業では、人材の強化が一番多く、次いで収益性向上が多かった。
- ・卸売業では、販売力の強化が一番多く、次いで収益性向上が多かった。
- ・小売業、飲食業では、収益性向上が一番多く、次いで販売力の強化が多かった。
- ・金融・保険業では、収益性向上と人材の強化が多く、次いで販売力の強化、事業承継が多かった。
- ・不動産業では、収益性向上が一番多く、次いで事業承継が多かった。



3. 適格請求書等保存方式(インボイス制度)について

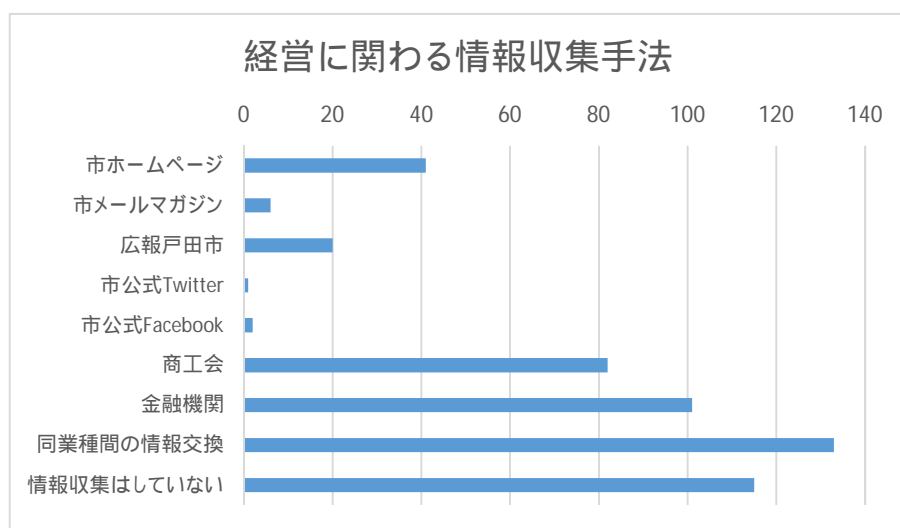
Q3-1インボイス制度についての対応状況は

・「既に申請済み」との回答が約7割であり、申請を予定している事業者を合わせると、全体の9割以上が適格請求書発行事業者に登録されることが推測できる。
・一方、「制度について知らない」との回答が2.6%あった。
・その他の回答としては、「税理士に任せている」、「消費税非課税のため申請予定なし」などがあつた。



Q3-2 経営に関わる情報収集方法は

・経営に関わる情報収集方法として、一番多く挙げられたのは「同業種間の情報交換」であつた。
・次いで多かったのは「情報収集はしていない」
・その他に多かったのは「金融機関」、「商工会」で、市の情報発信ツールよりも多く利用されていることが分かつた。

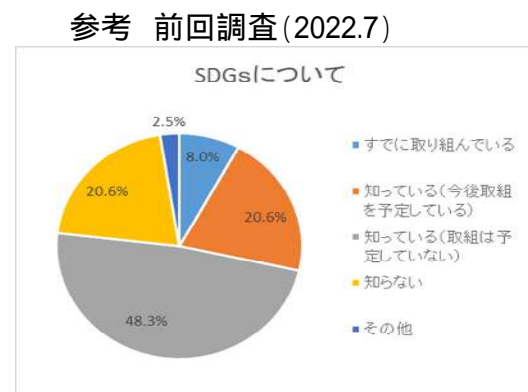
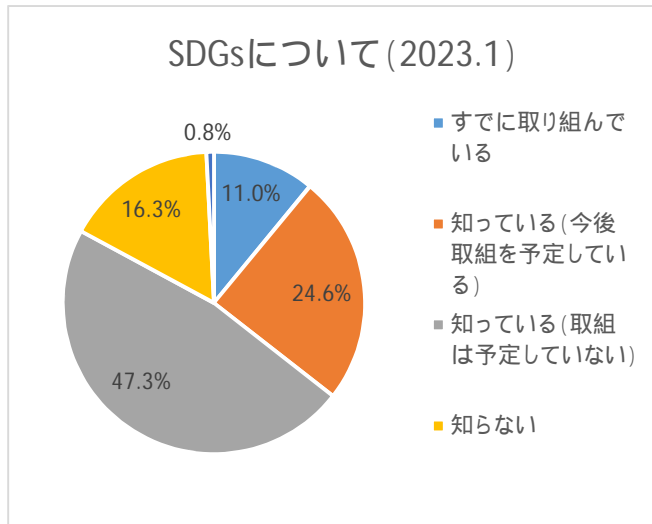


複数選択可

4. SDGs(持続可能な開発目標)について

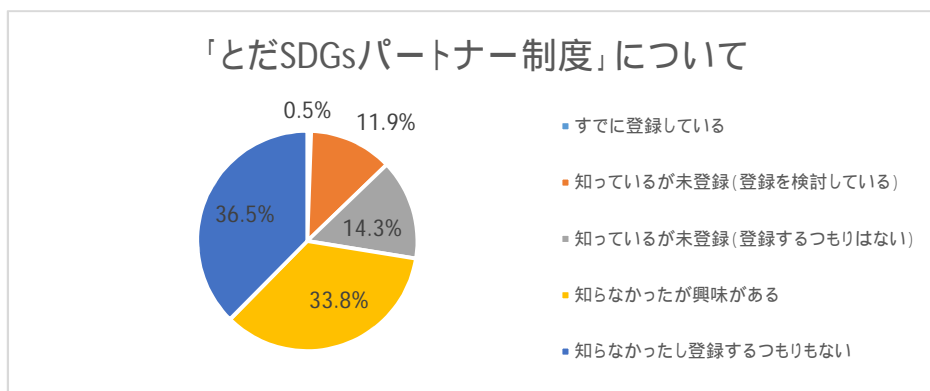
Q4-1 SDGs(持続可能な開発目標)について

- ・「すでに取り組んでいる」、「知っている(今後取組を予定している)」と回答した割合は、35.6%と前回調査より7ポイント増加している。
- ・「知っている(取組は予定していない)」と回答した割合は、47.3%である。
- ・「知らない」と回答した割合は、16.3%であり、前回調査(昨年7月)から4.3ポイント増加している。



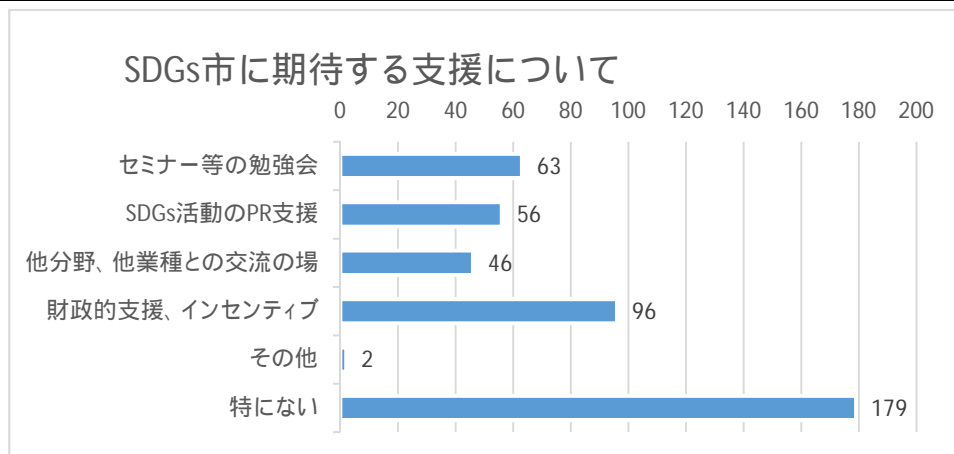
Q4-2「とだSDGsパートナー制度」について

- ・「すでに登録している」と回答したのは0.5%であり、登録を検討していると併せて12.4%だった。
- ・この制度を知っていたのは26.7%だった。
- ・知らなかったが興味があると回答したのは33.8%
- ・登録するつもりはないと回答したのは併せて50.8%を占めている。
- ・その他に寄せられた意見としては、「制度の対象外法人である」、「皆自分の仕事で手一杯なので、登録するのは難しい」、「埼玉県SDGsパートナー」へ先に登録しており、重複しないか検討中」などがあつた。



Q4-3 SDGsで市に期待する支援内容

・「特にない」が一番多かった。
・次いで多かったのは「財政的支援、インセンティブ」
・その他は「セミナー等の勉強会」、「SDGs活動のPR支援」、「他分野、他業種との交流の場」の順だった。



戸田市景気動向に関するアンケート調査結果(2023年1月)
令和5年2月28日発行 戸田市 環境経済部 経済戦略室

実施・編集・発行 : 戸田市 環境経済部 経済戦略室
048-441-1800(内線374)